

動物編

汽水・淡水魚類



汽水・淡水魚類の概要

宮城県で生息・分布、及び出現記録がある汽水・淡水魚は、下表に示す12目32科114種程度である。旧県RDB(2001)発行時は12目27科102種程度であった。10数年間での種数の増加は、各種調査における新規出現種や新外来種の侵入によるもので、最近になって河口で見られるようになったテングヨウジ、コボラ、ツバメコノシロ、キチヌ等である。中坊徹次編(2013)で県内からの記録があるとされるミツバヤツメ、アカザは、旧RDBから今回RDBに至る調査や執筆の作業を通して未確認であったため、県内の汽水・淡水魚の中に含めていない。

汽水・淡水魚を淡水河川・湖沼から汽水域に生息する魚類、回遊魚とし、海魚を除外している。東北地方太平洋沖大地震で干潟、河口の砂嘴等が被災し、魚類の生息環境が消失し、改変した。このような水域に生息する希少種、特に汽水性ハゼ類の被災後の生息状況の把握を補うため、内湾に面する様な塩分濃度が高目の干潟等も調査した。

目名、科名、標準和名及び学名の表記は、中坊(2013)に概ね準拠した。スナヤツメは遺伝的に分化した2種を含むが、現地調査で見分ける手だてがないのでスナヤツメ類としている。

宮城県産汽水・淡水魚の目別科数及び種類数

目名	科数	種数	種数の割合	種数の多い科	希少種数の カテゴリー区分
ヤツメウナギ	1	2	1.8%		(NT)1 (DD)1
ウナギ	1	2	0.9%		(NT)1
ニシン	1	3	2.6%		
コイ	2	35	30.7%	コイ科30 ドジョウ科5	(CR+EN)6 (VU)1 (NT)2
ナマズ	3	3	2.6%		(NT)1
サケ	4	11	9.6%	サケ科7	(NT)1
トゲウオ	2	3	1.8%		(DD)1
ボラ	1	4	3.5%		
ダツ	2	3	2.6%		(NT)1 (DD)1
スズキ	13	46	40.4%	ボラ科4 カジカ科4 ハゼ科26	(CR+EN)3 (VU)5 (NT)2 (DD)1
カレイ	1	2	1.8%		
フグ	1	1	0.9%		
合計12目	32科	114種			

カテゴリー区分の作業は、在来種の汽水・淡水魚の中から生息地の環境が脆弱で生息量が少ない種を選別し、絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)9件、絶滅危惧Ⅱ類(VU)6件、準絶滅危惧(NT)9件、情報不足(DD)4件を選定した。従来のカテゴリー区分では、汽水・淡水魚の定量的な評価が出来得ないでいた。今回RDBでは、現在の生息地や生息量を既存資料と比較することで、部分的であるが定量的な評価を行う観点でカテゴリー区分を行っている。

一級河川北上川、鳴瀬川、名取川、阿武隈川で4巡目(魚類調査は6回)の河川水辺の国勢調査が実施され、県管理区間で宮城県が同様に河川水辺の国勢調査を実施している。国土交通省直轄の鳴子ダム、釜房ダム、七ヶ宿ダムでは河川水辺の国勢調査ダム湖版を実施している。その中でコクチバスの繁殖が進むダム湖で、効果的な駆除方法を探る調査が行われている。バス類の駆除は宮城県の課題で、オオクチバスについて先駆的に宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団が駆除を行っている。ともに在来種を守る取り組みとして大切である。

東北地方太平洋沖地震で河川の河口、海岸寄りの湖沼、水路等が甚大な被害を受け、魚類の生息環境が一変した。貴重な水辺だった津谷川河口、長面浦、蒲生干潟、井土浦、鳥の海、赤井江、牛橋河口等も同様であったが、地震被災から数年経過して一部で魚類の生息環境の復活が見られるようになった。海岸堤防、河川堤防の建設や災害復旧の準備として、一級河川で国の被災域環境調査が、その他の水域で県の自然環境調査が実施されている。宮城県希少野生動植物調査会魚類分科会は自前の魚類調査に加えて、河川水辺の国勢調査ほか広範な水域で実施された魚

類調査、地震被災後の各調査結果の収集を行い、RDBに反映させることに努めた。

大別すると、鳴瀬川や北上川(旧北上川)以北で北方系の汽水・淡水魚が見られる。それに対し、二級河川七北田川や名取川以南の河川で関東地方と似た魚類相を示している。そのため本県付近が分布北限、或いは南限の種が多く見られる。

北上川(新北上川)を例外として、南三陸地域の魚類相が特徴的である。地形特性により流呈10km余に満たない中小河川が多くあり太平洋に注ぐが、ウツセミカジカ、カンキョウカジカ、ルリヨシノボリ、シマウキゴリはこの地域だけに分布し、スミウキゴリが優占的に生息している。ホトケドジョウとギバチが南三陸地域で見られないが、僅かに二級河川津谷川でのみギバチが生息する。アママス(降海型)が中小河川でしばしば見られるが、遡上の南限は旧北上川とみられる。南三陸地域の河川の特徴として移殖種を産しないことがあった。しかし、ゲンゴロウブナ、オイカワ、オオクチバスが一部の河川に入り始めている。

河川の河口は、多様な汽水魚、回遊魚、海水魚が生息する。地震被災で甚大な環境変化が生じたが、数年経過して大きな河川を中心に魚類の生息状況が回復しつつあるように見える。一方、南三陸地域の中小河川で魚類の回復を確認できない箇所があり、復旧工事が準備中または進行中である。カンキョウカジカは2河川に生息したが、地震被災で1河川の生息環境が消失し、現在は1河川に残存している。そこでは河川堤防の復旧工事での環境配慮が重大になっている。シロウオは南三陸地域の中小河川で見られ、従前よりシロウオ漁で有名な河川があるが、その他に河床が見えないほどの量で遡上する小河川や水路があった。二級河川等の復旧では、河床を弄らず濁水を流下させない方向で堤防が建設され、河口にあった水門が無くなる。用途が無い頭首工や落差工が撤去される河川もあり、全体で見ると魚類の生息環境が地震被災前より良化する希望が持てる。しかし、ごく小さな河川や水路は巨大に建設される海岸堤防の中を潜って海に流下する形なので、シロウオ等魚類の生息環境が維持されるのか危惧される。

魚類分科会の調査で、希少タナゴ類、エゾウグイ、シナイモツゴ、ハナカジカ、汽水性のハゼ科魚類、ルリヨシノボリの調査が進んだ。生息環境の脆弱さが目立つ種が多く、タナゴ類は外来種による食害や産卵母貝の競合、愛好者の捕獲圧が高く、将来の生息が危惧される。また、シナイモツゴやタナゴ類が生息する溜池や用水路は、バス類の違法放流を心配しつつ、改修されて全滅する危険が常にある。改修工事を所管する国、県、市町村に希少種を愛おしむ姿勢を求めたい。エゾウグイは生息量の減少が目立っていたが、新生息地を発見することができた。ハナカジカ、ルリヨシノボリは、県内での確認が比較的最近あるが、現地調査を重ねて生息状況を把握することができた。汽水性のハゼ科魚類は、地震被災で生息環境が大きく変化した種が多い。この分野に詳しい分科会調査員の努力と、同調査員が所属する会社の協力があって、各種の生息状況を把握することができた。

【魚類分科会調査員】

氏 名	所 属 等
高取 知男	元仙台市科学館副館長
坂本 順一	仙台野生淡水魚類研究所
櫻井 義洋	タナゴ類、淡水二枚貝研究家
旗 薫	株式会社エコリス
安野 翔	仙台市環境対策課 博士(生命科学)

参考文献

- 1 レッドデータブック2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物— 4汽水・淡水魚類 2015年2月 ぎょうせい
- 2 平成26年度宮城県希少野生動植物種生息・生育状況調査業務報告書 平成27年3月 宮城県野生動植物調査会
- 3 平成26年度北上川下流魚道調査検討業務調査結果概要 平成27年2月16日 国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所
- 4 河川海岸環境調査現地調査結果 2015年3月
- 5 名取川被災域水辺環境調査 魚類調査結果の概要 平成27年2月 仙台河川国道事務所
- 6 平成25年度宮城県希少野生動植物種生息・生育状況調査業務報告書 平成26年3月 宮城県野生動植物調査会
- 7 大川・神山川 環境調査・予測評価調査 平成26年1月 宮城県
- 8 面瀬川 環境調査・予測評価調査 平成26年6月 宮城県
- 9 井里前川 環境調査・予測評価調査 平成26年6月 宮城県
- 10 2014年度沿岸被災地における希少野生動植物調査夏季現地調査結果報告 2014年11月 (株)ブレック研究所
- 11 平成26年度北上川水系旧北上川被災域環境等調査魚類調査(秋季) 平成26年11月 (株)建設環境建設所
- 12 平成26年度沿岸被災地における希少野生動植物調査春季現地調査結果報告等 平成26年8月 (株)ブレック研究所
- 13 大谷川海岸・女川牡鹿線 環境調査・予測評価結果 平成26年11月 宮城県
- 14 姥ヶ懐道路環境影響調査報告書 平成27年2月 宮城県
- 15 桜川 環境調査・予測評価調査 平成26年11月 宮城県
- 16 八幡川 環境調査・予測評価調査 平成26年11月 宮城県
- 17 水尻川 環境調査・予測評価調査 平成26年11月 宮城県
- 18 折立川 環境調査・予測評価調査 平成26年11月 宮城県
- 19 水戸辺川 環境調査・予測評価調査 平成26年4月 宮城県
- 20 長清水川 環境調査・予測評価調査 平成26年4月 宮城県気仙沼土木事務所
- 21 相川沢川 (環境調査・予測評価)報告書 平成26年11月 宮城県
- 22 平成26年度阿武隈川下流被災域水辺環境調査 魚類調査結果の概要 平成27年2月 仙台河川国道事務所
- 23 平成26年度阿武隈川白石川河川水辺の国勢調査(魚類)調査業務委託報告書 平成26年12月 いであ(株)
- 24 南北上運河 環境調査・予測評価結果 平成26年8月 宮城県
- 25 名取川被災域水辺環境調査業務 魚類調査の概要 平成26年12月 仙台河川国道事務所
- 26 五間堀川 環境調査・予測評価結果 平成26年6月 宮城県
- 27 南貞山運河 環境調査・予測評価結果 平成26年6月 宮城県
- 28 平成24年度宮城県希少野生動植物種生息・生育状況調査業務報告書 平成25年3月 宮城県野生動植物調査会
- 29 日本産魚類検索全種の同定第三版 中坊徹次編 2013年2月 東海大学出版会
- 30 宮城県の希少な野生動植物 宮城県レッドリスト2013年版(震災前アーカイブ) 平成25年3月 宮城県
- 31 平成25年度州崎地先海岸外環境調査 平成25年12月20日 宮城県土木部河川課
- 32 平成25年度河川海岸環境調査業務委託夏季調査結果 平成25年10月 (株)建設環境研究所
- 33 事業認定箇所環境調査 平成25年度 宮城県河川課
- 34 鹿折川 環境調査・予測評価結果 平成25年10月 宮城県
- 35 平成25年度北上川水系北上川被災域環境等調査(魚類調査)
- 36 平成25年度北上下流魚道調査
- 37 平成25年度沿岸被災地における希少野生動植物調査業務報告書 平成26年3月 (株)ブレック研究所
- 38 平成25年度鳴瀬川(指定区間)河川水辺の国勢調査調査(魚類調査)
- 39 平成25年度沿岸被災地における希少野生動植物調査委託業務現地調査結果中間報告 平成25年11月 (株)ブレック研究所
- 40 平成25年度七北田川河川水辺の国勢調査(魚類調査)
- 41 平成24年度中島地区海岸外環境調査
- 42 平成24年度北上川水系北上川被災域環境等調査 魚類調査
- 43 江合川、旧迫川、迫川水系のホトケドジョウとカジカ類の分布 伊豆沼・内沼研究報告6号 2012年
- 44 平成24年度北上川水系河川水辺の国勢調査—県管理—
- 45 平成23年度鳴瀬川水系被災域環境等調査 魚類調査
- 46 平成24年度名取川水系河川水辺の国勢調査(魚類調査)—県管理—
- 47 平成24年度被災域環境調査 魚類現地調査結果
- 48 平成24年度名取川河川水辺の国勢調査報告書(魚類調査)
- 49 平成24年度河川水辺の国勢調査報告書(釜房ダム 魚類調査)
- 50 平成23年度北上川水系河川水辺の国勢調査(魚類)
- 51 平成23年度北上川水系旧北上川被災域環境等調査 魚類
- 52 平成23年度鳴子ダム河川水辺の国勢調査(魚類調査) 平成24.3.7 東北地方整備局鳴子ダム管理所
- 53 商人沼泉自然環境保全地域候補地学術調査報告書 平成23年3月 宮城県
- 54 井土浦ハゼ科魚類生息状況調査秋季調査報告書 平成23年3月 (株)エコリス
- 55 岩堂沢周辺地域ハナカジカ生息状況調査報告書 平成23年7月 (株)エコリス水域調査室
- 56 改訂レッドリスト付属説明資料 汽水・淡水魚類 2010年 環境省自然環境局野生生物課
- 57 平成22年度七ヶ宿ダム河川水辺の国勢調査(魚類調査)
- 58 小田川・内川(五福谷川含む)・雉子尾川魚類採捕報告書 (大河原土木)
- 59 平成16年度阿武隈川河川水辺の国勢調査業務現地調査報告書 平成22年3月 仙台河川国道事務所
- 60 津谷川河口ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年9月 (株)エコリス
- 61 長面浦ハゼ科魚類生息状況調査(夏季調査報告書) 平成21年9月 (株)エコリス
- 62 牡鹿半島ヨシノボリ類生息状況調査秋季調査報告書 平成21年10月 (株)エコリス

- 63 平成21年度栗駒山系砂防(宮城県側)環境調査業務報告書(魚類調査) 平成21年12月 いであ(株)
- 64 岩堂沢周辺地域ハナカジカ生息状況調査 平成21年9月 (株)エコリス
- 65 鳴瀬川河口ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年9月 (株)エコリス
- 66 蒲生干潟ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年9月 (株)エコリス
- 67 井土浦ハゼ科魚類生息状況調査秋季調査報告書 平成21年10月 (株)エコリス
- 68 平成21年度阿武隈川下流(指定区間白石川)河川水辺の国勢調査(魚類調査) 平成22年3月 宮城県土木部河川課 宮城県大河原土木事務所
- 69 阿武隈川河口ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年9月 (株)エコリス
- 70 鳥の海ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年8月 (株)エコリス
- 71 牛橋河口ハゼ科魚類生息状況調査夏季調査報告書 平成21年9月 (株)エコリス
- 72 平成20年度鳴瀬川水系河川水辺の国勢調査(魚類) 平成21.3.17 東北地方整備局北上川下流河川事務所
- 73 平成20年度鳴瀬川(指定区間)河川水辺の国勢調査(魚類調査) 平成20.11.28 宮城県土木部河川課
- 74 平成20年度七北田川水系水辺の国勢調査(魚類調査)
- 75 真野川・加茂川魚類調査 2008年11月 宮城県東部土木事務所
- 76 平成20年度北上下流魚道調査
- 77 平成19年度河川水辺の国勢調査(筑川環境調査)報告書 平成20年1月
- 78 平成19年度河川水辺の国勢調査名取川水系名取川・広瀬川魚類調査
- 79 平成19年度川内沢川環境影響評価業務(動物編) 平成20年10月17日 東北緑化環境保全(株)
- 80 平成18年度鳴子ダム河川水辺の国勢調査
- 81 田川ダムにおける環境調査について～魚類調査結果報告～ 平成18年12月 鳴瀬川総合開発調査事務所
- 82 平成17年度巨理の水と生き物、歴史探検隊 あぐりねっと21
- 83 平成16年度河川水辺の国勢調査阿武隈川下流 魚介類調査 仙台河川国道事務所 平成17年2月18日
- 84 平成16年度白石川河川水辺の国勢調査(魚介類調査) 平成16年12月 宮城県大河原土木事務所
- 85 平成15年度鳴瀬川河川水辺の国勢調査業務委託 平成15.12.19 (株)建設環境研究所
- 86 平成14年度南沢川魚類調査報告書 平成16年1月 宮城県迫土木事務所
- 87 平成15年度鳴子ダム河川水辺の国勢調査報告書(魚介類調査編)
- 88 平成15年度鳴瀬川水系河川水辺の国勢調査
- 89 河川水辺の国勢調査平成15年度七北田川水系水辺魚介類調査報告書 仙台東土木事務所
- 90 平成14年度魚取沼のテツギョ保全対策事業実施報告書 宮城県自然保護課
- 91 宮城県鉛川における重金属濃度ならびに魚類・二枚貝類の出現状況 2002年2月 宮城教育大学紀要第42巻
- 92 平成14年度名取川水系河川水辺の国勢調査(魚介類調査)
- 93 平成14年度釜房ダム自然環境調査 釜房ダム管理所 2003年
- 94 平成14年度七ヶ宿ダム河川水辺の国勢調査報告書 七ヶ宿ダム管理所 平成15年2月25日
- 95 宮城県の希少な野生動植物—宮城県レッドデータブック— 2001年3月 宮城県
- 96 加瀬沼緑地環境保全地域学術調査報告書 平成13年3月 宮城県
- 97 宮城県の魚類相 座間彰 2001年
- 98 農村地域環境管理計画策定手法策定調査「名取地区」総合報告書 平成13年3月 東北農政局農村計画部資源課
- 99 (平成12年度)北上川河川水辺の国勢調査(魚介類) 迫川総合開発事務所管内編
- 100 郡山堰の魚道改良効果について 遡上調査報告概要 平成12年1月
- 101 平成11年度阿武隈川下流河川水辺の国勢調査阿武隈川下流(魚介類調査) 平成12年2月25日
- 102 万石浦に出現する魚類の生態学的研究 座間彰 1999年
- 103 平成11年度白石川河川水辺の国勢調査(魚介類)調査報告書 平成11年12月 宮城県大河原土木事務所
- 104 平成10年度鳴瀬川水辺の国勢調査(魚介類)報告書 平成11年3月 (株)建設企画コンサルタント
- 105 平成10年度河川水辺の国勢調査(魚介類調査)—七北田川— 平成11年12月 (株)建設環境研究所
- 106 平成9年度南沢川魚類調査報告書 平成10年3月 宮城県迫土木事務所
- 107 梅田川いぎもの調査報告書 平成10年2月 (株)水産生物研究室
- 108 平成9年度名取川水系魚介類調査 平成10年2月 建設省東北地方建設局仙台工事事務所
- 109 平成9年度釜房ダム自然環境調査 建設省釜房ダム管理所 1998年
- 110 蕪栗沼遊水地生物調査 平成9年11月 宮城県迫川総合開発建設事務所
- 111 平成9年度名取川水系魚介類調査業務調査結果概要 平成10年2月 建設省東北地方建設局仙台工事事務所
- 112 仙台市芋沢川の河川環境事前調査報告書 平成9年8月 (有)ネイティブサイン研究所
- 113 第4回鬼首道路追跡調査委員会資料 平成9年10月17日 建設省湯沢工事事務所
- 114 魚取沼のテツギョの追跡調査 平成9年3月 「魚取沼のテツギョ保全対策事業」基礎調査報告書 宮城県
- 115 地球環境貢献型農業農村整備計画調査「迫川右岸地域の淡水魚」報告書 平成8年1月 東北農政局北上土地改良調査管理事務所
- 116 河川生態系総合調査報告書 平成8年3月 (株)建設環境研究所
- 117 平成7年度梅田川多自然型川づくり計画設計業務に係る梅田川生物環境調査 平成8年11月 日本建設コンサルタント(株)
- 118 (平成7年度)北上川魚介類調査 北上川下流工事事務所
- 119 平成6年度阿武隈川水系(阿武隈川下流)魚介類調査報告書 平成7年3月 (株)建設環境研究所
- 120 模式産地におけるシナイモソゴの再発見と人口繁殖試験 1995年 宮城内水試研究第2号
- 121 河北新報 平成6年5月24日
- 122 南三陸の淡水魚について 仙台市科学館研究報告第4号 1994年6月
- 123 平成5年度田川ダム環境調査報告書 平成6年2月 (株)建設技術研究所
- 124 広瀬川流域の自然環境 1994 仙台市

- 125 平成5年度鳴瀬川水系魚介類調査業務委託報告書 平成5年12月 東北地方建設局北上川下流工事事務所
- 126 魚影の郷整備事業に係る淡水魚調査 宮城淡水魚研究会
- 127 河川水辺の国勢調査平成15年度七北田川水系水辺魚介類調査報告書
- 128 平成5年度七ヶ宿ダム自然環境調査魚類調査概要調査 平成6年2月 東北地方建設局七ヶ宿ダム管理所
- 129 平成5年度南沢川魚類調査及び多自然型護岸への提案報告書 平成5年8月 宮城県迫土木事務所
- 130 県民の森緑地環境保全地域の魚・両生類・爬虫類・甲殻類・貝 平成5年3月 県民の森緑地環境保全地域学術調報告書 宮城県
- 131 仙台の汽水性魚類について 仙台市科学館研究報告第3号 1993 仙台市科学館
- 132 河川概要調査迫川の漁獲概況 1992年 宮城県
- 133 河川概要調査白石川の漁獲概況 1992年 宮城県
- 134 七北田川の魚類について 仙台市科学館研究報告 1992・第2号 仙台市科学館
- 135 平成2～3年度魚介類現地調査(北上川)
- 136 平成2年魚介類現地調査(鳴瀬川)
- 137 南宮地区環境(動植物)調査
- 138 泉ヶ岳山麓のため池に生息するテツギョについて 仙台市科学館研究報告 1991・第1号 仙台市科学館
- 139 魚類の観察ポイント 太白山自然観察の森自然環境調査報告書 1991年2月 仙台自然教育研究会
- 140 山元町の魚 平成元年度淡水魚調査
- 141 阿武隈川の魚類《丸森地域》 阿武隈渓谷県立自然公園(仮称)予定地学術調査報告書 昭和63年3月 宮城県
- 142 第3回自然環境保全基礎調査河川調査報告書東北版 1987 環境庁
- 143 第2回自然環境保全基礎調査河川調査報告書 1979 宮城県
- 144 広瀬・名取川水系魚類相調査報告書 中村守純 1976 仙台市
- 145 Notes on the Fresh water fishes of the Tohoku District in the Collection of the Saito Ho-on Kai Museum 昭和13年8月18日